

事業所名

多機能型通所支援事業所リアンジュ

支援プログラム

作成日

令和6

年

12 月

5 目

法人（事業所）理念		主観的幸福感の追求									
支援方針		・手先を使った創作活動や体を使ったりトミック、ルールのある集団療育活動を通じて社会性を養う。 ・一人一人の障害の特性を理解し、個別支援計画に則った基本的生活習慣（食事、排泄、着脱等）を支援することで、自立を高め達成感をもつ。 ・保護者や学校と密に連携を図り、成長による日常生活状況の変化や体調管理を把握し、環境面や衛生面にも配慮しながら、児童が楽しく安全に過ごせる療育の場を提供できるように努める									
営業時間		10 13	時	00 30	分から	16 16	時	00 30	分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	個々のペースに応じて繰り返し支援することで安心して過ごせる環境となり、本人の発達段階と生活環境を把握しながら本人ができる形での基本的生活習慣の定着を目指す。									
	運動・感覚	個人が活動しやすい環境を整え、場面に応じた適切な道具を使用するなど具体的な対策を講じることで、個人の生活の質を向上を目指す。									
	認知・行動	スケジュールの活用や本人のルーティンを目安として活動の切り替えが出来るよう支援することで、見通しを持ちながら自発的に考えて行動できる力を身につける。									
	言語 コミュニケーション	日常生活において会話やカード、視線や身振り手振りなどでの選択、表情など個人が表現しやすい方法を活用しコミュニケーションを図ることで「伝える」「わかってもらえた」という経験を積み重ねる。									
	人間関係 社会性	集団活動を行い相手を意識した関りをする中で対人関係の芽生えや愛着形成を支援し、本人の思いにも共感的に対応することで周囲の人と安定した関りが出来るようになる。									
家族支援		・児童を主体とした療育面談を年2回実施し、ご家族のニーズを把握しながら支援内容を検討し、個別支援計画の作成を行う。 ・ご家族の介護負担軽減と、児童の育児に対する意欲向上のお手伝いとなるよう適宜、相談に応じていく。					移行支援		・ライフステージの切り替えを視野に入れ、個々の心身の成長に応じた具体的な内容で個別支援計画を作成し個人のエンパワメントを図る。 ・具体的な方法で支援を行い、ライフステージに沿って関係機関と情報を共有し連携を図ることで切れ目のない一貫した支援を提供する体制を構築する。		
地域支援・地域連携		積極的に地域資源を活用したり、地域行事に参加することでコミュニケーションを図り、事業所として地域の方が参加出来る行事を計画し、施設見学なども踏まえ事業所での取り組みを伝えながら交流を図り連携体制を構築する。					職員の質の向上		・入職時の新人研修 ・毎月1回の内部研修（虐待、リスクマネジメント等） ・適宜、開催される専門的内容の研修会の参加、または事業所内研修の開催（自閉症、発達障害、医療的ケア、各種疾患等）		
主な行事等		お誕生会、外出行事、季節の行事、避難訓練、地域交流									